

GAP (農業生産工程管理) に関する講演会



【農林水産部】

沖縄総合事務局では、これまで、GAPの取組状況や重要性について、沖縄県、市町村、関係団体などへの周知活動を推進してきたところであり、6月から7月にかけて、将来の沖縄農業の担い手となる農業高校などに対して、GAPの重要性を伝えるための講演会を開催しました。

今後の農業を担う若い人材が、早いうちから国際水準のGAP（農業生産工程管理）に取り組むことが重要であることから、農林水産部では、6月から7月にかけて、県内の4つの農業高校（中部、南部、八重山の各農林高校、宮古総合実業高校）の生徒、農業大学の学生を対象に、GAPへの関心を深めてもらうための講演会を開催しました。

講演会は、県内でGAP推進に取り組まれている農業生産法人（株）みやぎ農園の御協力のもと、講義と実習の2部構成で行いました。

第1部の講義では同法人のGAP評価員※である小田哲也氏から、GAPに持続的に取り組むことで、「食品の安全」、「環境の保全」、「労働安全の確保」に繋がることなどについて講話していただきました。第2部の実習では、生徒、学生がチェックシートを用いて、ほ場における農薬散布時の安全対策などの評価や、資材保管庫、出荷場の各作業場での評価を試してもらいました。評価後は小田氏から各作業場における必要な取組などについて解説していただきました。

これまで5校で開催した講演会には計約300人と多くの参加があり、生徒からは、「実際にチェックして改善すべきことが分かった」、「学校で取り組むことで、就農した時に役に立つ」などの感想

が寄せられました。

なお、9月以降、北部農林高校、久米島高校（園芸科）での開催を予定しています。

※「GAP評価員」とは、（一社）日本生産者GAP協会が実施する「日本GAP規範に基づく農場評価制度」による評価員試験に合格した者。

農林水産部経営課

☎098-866-11628

GAP: Good Agricultural Practice (農業生産工程管理) とは

GAPは、農業生産工程管理と訳され、「工程管理に基づく品質保証」の考え方を農業現場に導入したもので、農場で起きる可能性のある様々なリスク（食品事故、環境破壊、農作業事故など）を未然に防ぐ農場管理の手法です。

「GAP をする」とは	農業者がGAPの取組を自ら実施すること。認証の有無は関係ない。
「GAP 認証をとる」とは	第三者機関の審査によりGAP認証を受けること。GAPを実施していることが客観的に証明される。

GAPのメリット

- 生産者にとって
- ・適切な農場管理（食の安全、環境保全、労働安全）ができます。
- ・仕事の効率化による経営改善や

品質向上、技術の継承に役立ちます。

GAP認証を受けることで「信頼できる農場」であることを客観的にアピールできます。

2020年東京オリンピック・パラリンピックの選手村などで提供される食材として出荷できます。（食材調達会社と契約する必要があります）

●流通業者・消費者にとって

・一定の安全性が確保された農産物を安心して購入することができます。

・農産物の安全などに関する確認を独自に行う必要がなくなり、効率的な調達業務が実現できます。

農林水産部生産振興課

☎098-866-11653



GAPに関する講演会の様子(6/2 中部農林高校)